

入学者選抜における民間の英語資格・検定試験結果の活用方法について (国際商経学部、環境人間学部)

2021年度(令和3年度)入学者選抜より、大学入試センターから提供される民間の英語資格・検定試験結果の活用については、令和元年6月13日付けで、2021年度(令和3年度)入試の予告として、以下のとおり公表しました。

《令和元年6月13日付け予告内容》

- ・一般入試(一般選抜)において、出願資格として活用します。CEFRレベルはA2以上を求めます。
- ・ただし、国際商経学部 グローバルビジネスコースでは、CEFRレベルB1以上を求めます。
- ・工学部及び理学部においては、民間の英語資格・検定試験を受験している者は大学入試センターを通じて試験結果の提出を求めますが、当面の間は出願資格として設定しません。

【個別学力検査等による活用】

- ・以下の入試区分においては、2020年度入学者選抜と同様、個別学力検査等の外国語で民間の英語資格・検定試験結果を活用します。

国際商経学部 経済学コース・経営学コース(後期日程)、グローバルビジネスコース(前期日程)

今回、上記に加え、新たに以下のとおり予告します。

(1) 国際商経学部

① グローバルビジネスコース 推薦入試(学校推薦型選抜)

〔出願資格〕

- ・高校3年間において、CEFRレベルB1以上のスコアを取得していることを求めます。(2020年度入試に同じ)
- ・上記の証明として、出願時に認定証・成績通知書等の写しの提出を求めます。(2020年度入試に同じ)

〔大学入試センター「大学入試英語成績提供システム」による成績提供の利用〕

- ・利用しません。

② グローバルビジネスコース 一般入試(一般選抜)前期

〔出願資格〕

- ・受験年度を含む3年間において、CEFRレベルB1以上のスコアを取得していることを求めます。(2020年度入試に同じ)

〔個別学力検査(外国語)で得点化〕

- ・受験年度を含む3年間の試験結果を評価し、個別学力検査の外国語で得点化します。(2020年度入試に同じ)

〔大学入試センター「大学入試英語成績提供システム」による成績提供の利用〕

- ・利用します。
- ・ただし、受験年度を含む3年間において、大学入試センターから提供されるCEFRレベルを超えた成績を有する受験生については、出願時に認定証・成績通知書等の写しの提出を求めます。

③ 経済学コース・経営学コース 一般入試(一般選抜)後期

〔出願資格〕

(2021年度入試)

- ・受験年度を含む3年間において、CEFRレベルA2以上のスコアを取得していることを求めます。

(2022年度入試以降)

- ・大学入試センター「大学入試英語成績提供システム」から提供される成績において、CEFRレベルA2以上のスコアを取得していることを求めます。

〔個別学力検査(外国語)で得点化〕

(2021年度入試)

- ・受験年度を含む3年間の試験結果を評価し、個別学力検査の外国語で得点化します。(2020年度入試に同じ)

(2022年度入試以降)

- ・大学入試センター「大学入試英語成績提供システム」から提供される成績を評価し、得点化します。

〔大学入試センター「大学入試英語成績提供システム」による成績提供の利用〕

- ・利用します。
- ・ただし、2021年度入試では、受験年度を含む3年間において、大学入試センターから提供されるCEFRレベルを超えた成績を有する受験生については、出願時に認定証・成績通知書等の写しの提出を求めます。

(2) 環境人間学部

○ 推薦入試(学校推薦型選抜)

〔資格・技能に対する加点〕

- ・現入学者選抜において、加点対象となっている資格・技能に加えて、大学入学共通テストの対象として認められた民間の英語資格・検定試験結果も加点対象とします。
- ・全ての資格・技能について、高校3年間の試験結果を加点対象とします。
- ・上記の証明として、出願時に認定証・成績通知書等の写しの提出を求めます。(2020年度入試に同じ)

〔大学入試センター「大学入試英語成績提供システム」による成績提供の利用〕

- ・利用しません。